

2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月13日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東 名
 コード番号 8886 URL <https://www.woodfriends.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 知秀
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村山 淳二 TEL 052-249-3504
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	22,588	1.9	256	△80.6	△63	—	△99	—
2022年5月期第2四半期	22,172	31.0	1,322	365.6	1,193	880.5	843	—

(注) 包括利益 2023年5月期第2四半期 △69百万円 (—%) 2022年5月期第2四半期 868百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	△68.50	—
2022年5月期第2四半期	578.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年5月期第2四半期	37,709	7,475	18.5	4,774.72
2022年5月期	33,318	7,779	21.9	5,003.32

(参考) 自己資本 2023年5月期第2四半期 6,961百万円 2022年5月期 7,295百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	0.00	—	161.00	161.00
2023年5月期	—	0.00			
2023年5月期 (予想)			—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,600	3.1	800	△46.4	300	△77.8	160	△82.9	109.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期2Q	1,480,000株	2022年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	21,917株	2022年5月期	21,917株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期2Q	1,458,083株	2022年5月期2Q	1,458,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予測などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自2022年6月1日 至2022年11月30日)の概況は、以下のとおりであります。

① 当地域の不動産業界

愛知県の地価調査では、平均変動率が住宅地は1.5%、商業地では2.3%の上昇となりました。当第2四半期連結累計期間である2022年6月から2022年11月における愛知県の新設住宅着工戸数は前年比で減少しているものの、建設資材価格高騰による販売価格の上昇やインフレによる消費者の購入マインドの低下により、住宅市場全体での契約率が低下するなど、販売競争は依然激化しております。

② 当社の取り組み

- ・東海エリアにおけるシェア拡大に向け、用地取得に注力し、また建売分譲のみならず、当社の強みである「商品住宅」を活かし売建・注文住宅市場への積極展開を図ってまいりました。
- ・「住みかえSHOP」の店舗拡充を進め顧客接点を強化するとともに、細やかなサービスの提供や地域のニーズに寄り添った商品の開発を行い、顧客満足度の向上に努めております。
2023年4月1日には三河エリアの旗艦店として刈谷市にモデルハウス併設型の「住みかえSHOP.刈谷店」をオープンさせ、以降も愛知県全域で「住みかえSHOP」店舗網の拡充を図る計画を進めております。
- ・「地球品質・サステナブルデザイン」をコンセプトとした新商品「地球世代」モデルハウスを名古屋市守山区にオープンいたしました。地球環境に配慮した商品提供を行うことにより、未来に繋がる社会の実現に向けて取り組んでおります。
- ・長期優良住宅認定及び太陽光発電システムを搭載したZEH住宅の販売を開始いたしました。高性能な住宅をリーズナブルな価格で提供することにより、戸建住宅市場でのシェア拡大を目指します。
- ・HOTEL WOOD高山にて、高山の文化や地元産産を体験できる酒蔵見学等のツアーを開催しております。ラウンジスペースでの利酒サービスは多くのお客様にご好評いただいております。また、高山での思い出を持ち帰っていただきたいという想いから、オリジナル地酒「上二」の販売を開始しました。

③ 環境への取り組み

当社は「環境への取り組み」を企業の継続的な発展生存のテーマと位置付け、「木質資源カスケード事業」を軸に、国産木資源の積極的な利用を推進しております。現在は、原木の安定的かつ持続可能な供給体制の確立に向けて、森林の確保、森林管理の外部アライアンスの構築に向けて動いております。

④ 当第2四半期連結累計期間の業績

<連結業績>

	売上高	営業利益	経常利益又は 経常損失 (△)	親会社株主に帰属 する四半期純利益 又は親会社株主に 帰属する四半期純 損失 (△)
当第2四半期実績	22,588百万円	256百万円	△63百万円	△99百万円
前年同期実績	22,172百万円	1,322百万円	1,193百万円	843百万円
前年同期比	1.8%増	80.6%減	—	—

	販売戸数	内訳	
		戸建住宅	集合住宅
当第2四半期実績	541戸	527戸	1棟14戸
前年同期実績	531戸	531戸	—
前期実績(通期)	1,004戸	1,004戸	—

<セグメントの実績>

a 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売及び住宅建設資材の製造・販売等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な 要因
当第2四半期実績	20,608百万円	330百万円	売上高は微減だが、建設資材価格の高騰により利益が減少。
前年同期比	1.2%減	77.7%減	

b 余暇事業

ゴルフ場及びホテル並びに公共施設の運営管理及び施設管理

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な 要因
当第2四半期実績	1,279百万円	290百万円	ゴルフ場運営が堅調に推移したことに加え、ホテルの宿泊客増加等により、売上高及び利益が増加。
前年同期比	10.1%増	15.8%増	

c 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な 要因
当第2四半期実績	770百万円	25百万円	収益不動産の販売により、売上高が増加。
前年同期比	312.2%増	—	

d その他の事業

上記以外の外部顧客への販売・サービスの提供

	売上高	セグメント利益	前年同期比の主な 要因
当第2四半期実績	8百万円	4百万円	—
前年同期比	0.0%増	7.4%増	

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

a 資産

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、棚卸資産の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し4,390百万円増加し、37,709百万円となりました。

b 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として、前連結会計年度末と比較し4,695百万円増加し、30,234百万円となりました。

c 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少を主な要因として、前連結会計年度末と比較し304百万円減少し、7,475百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加4,356百万円（前年同期は520百万円の減少）、仕入債務の減少596百万円（前年同期は844百万円の増加）等により、4,868百万円の支出（前年同期は2,303百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、566百万円の支出（前年同期比50.8%増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金による収入等により、5,256百万円の収入（前年同期は2,000百万円の支出）となりました。

以上の結果により、現金及び現金同等物は178百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末残高は4,505百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月15日に公表した通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日（2023年1月13日）公表いたしました「2023年5月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異及び通期業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,692,398	4,514,584
完成工事未収入金	26,209	18,322
売掛金	536,389	437,055
販売用不動産	8,140,006	11,181,862
仕掛販売用不動産	8,601,965	9,544,040
商品及び製品	897,007	920,440
未成工事支出金	2,770,092	3,110,397
仕掛品	368,201	359,274
原材料	1,068,459	1,085,908
貸倒引当金	—	△8,484
その他	1,024,024	1,003,346
流動資産合計	28,124,754	32,166,749
固定資産		
有形固定資産	4,434,701	4,684,410
無形固定資産	101,832	140,339
投資その他の資産	657,628	718,395
固定資産合計	5,194,162	5,543,146
資産合計	33,318,917	37,709,895
負債の部		
流動負債		
工事未払金	2,686,835	2,585,503
買掛金	1,406,158	911,460
1年内償還予定の社債	477,400	521,400
短期借入金	11,992,661	17,767,996
1年内返済予定の長期借入金	1,248,565	1,198,115
匿名組合預り金	192,940	200,380
未払法人税等	233,177	65,598
賞与引当金	247,034	8,471
役員賞与引当金	35,375	—
完成工事補償引当金	119,598	117,652
その他	823,811	1,056,629
流動負債合計	19,463,559	24,433,209
固定負債		
社債	1,575,600	1,292,900
長期借入金	3,018,835	3,027,757
退職給付に係る負債	2,878	3,336
役員退職慰労引当金	171,690	176,954
資産除去債務	75,368	75,131
その他	1,231,306	1,225,141
固定負債合計	6,075,679	5,801,220
負債合計	25,539,239	30,234,429

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	284,956	284,956
利益剰余金	6,772,992	6,438,359
自己株式	△42,195	△42,195
株主資本合計	7,294,879	6,960,245
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	1,691
その他の包括利益累計額合計	377	1,691
非支配株主持分	484,421	513,528
純資産合計	7,779,677	7,475,465
負債純資産合計	33,318,917	37,709,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	22,172,357	22,588,067
売上原価	18,896,000	20,182,764
売上総利益	3,276,357	2,405,303
販売費及び一般管理費	1,953,534	2,148,784
営業利益	1,322,822	256,519
営業外収益		
受取利息	779	779
受取手数料	6,618	6,334
違約金収入	150	11,490
助成金収入	6,003	695
受取保険金	4,531	1,716
その他	6,842	13,459
営業外収益合計	24,924	34,475
営業外費用		
支払利息	120,431	178,117
資金調達費用	4,514	150,408
その他	29,108	26,005
営業外費用合計	154,053	354,531
経常利益又は経常損失(△)	1,193,692	△63,537
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	0	688
減損損失	81,350	—
特別損失合計	81,350	688
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,112,342	△64,216
法人税等	244,255	6,557
四半期純利益又は四半期純損失(△)	868,087	△70,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	25,007	29,107
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	843,079	△99,881

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	868,087	△70,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	357	1,314
その他の包括利益合計	357	1,314
四半期包括利益	868,444	△69,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843,437	△98,567
非支配株主に係る四半期包括利益	25,007	29,107

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,112,342	△64,216
減価償却費	247,677	291,001
減損損失	81,350	—
受取利息及び受取配当金	△868	△949
支払利息	120,431	178,117
売上債権の増減額(△は増加)	△271,503	107,220
棚卸資産の増減額(△は増加)	520,714	△4,356,191
仕入債務の増減額(△は減少)	844,964	△596,029
その他	△9,786	19,550
小計	2,645,321	△4,421,496
利息及び配当金の受取額	868	949
補助金の受取額	—	2,340
助成金の受取額	6,003	695
利息の支払額	△121,259	△178,347
法人税等の支払額	△227,395	△272,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,303,537	△4,868,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△340,582	△485,539
無形固定資産の取得による支出	△31,786	△57,052
その他	△3,277	△23,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,646	△566,438
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,151,161	16,564,171
短期借入金の返済による支出	△10,023,362	△10,788,836
長期借入れによる収入	600,000	625,000
長期借入金の返済による支出	△842,869	△666,528
社債の発行による収入	394,031	—
社債の償還による支出	△138,000	△238,700
リース債務の返済による支出	△6,003	△4,529
配当金の支払額	△135,479	△234,547
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,000,522	5,256,030
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,630	△178,514
現金及び現金同等物の期首残高	4,264,737	4,684,294
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,192,107	4,505,780

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症及びウクライナ情勢に係る影響について)

新型コロナウイルス感染症や、ロシアによるウクライナの軍事侵攻及び関連するロシア経済制裁の広がり、その収束時期を見通すことは困難な状況ですが、今後、新型コロナウイルス感染症のまん延やウクライナ情勢が一段と悪化した場合には、資材価格の高騰等により、当社グループの経営成績等に重要な影響を与える可能性があります。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)「余暇事業 HOTEL WOOD高山における固定資産の減損」に記載した、新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や収束を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
売上高							
分譲住宅及び土地	18,142,985	—	—	—	18,142,985	—	18,142,985
注文住宅	623,168	—	—	—	623,168	—	623,168
建設資材	1,530,071	—	—	—	1,530,071	—	1,530,071
リフォーム	197,209	—	—	—	197,209	—	197,209
施設利用料	—	1,066,061	—	—	1,066,061	—	1,066,061
その他	350,659	95,254	111,573	—	557,487	—	557,487
顧客との契約から生 じる収益	20,844,094	1,161,316	111,573	—	22,116,984	—	22,116,984
その他の収益(注) 3	—	—	46,955	8,417	55,373	—	55,373
外部顧客への売上高	20,844,094	1,161,316	158,529	8,417	22,172,357	—	22,172,357
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,092	1,238	28,257	—	39,587	△39,587	—
計	20,854,186	1,162,554	186,786	8,417	22,211,945	△39,587	22,172,357
セグメント利益又は損 失(△)	1,486,734	250,764	△10,069	4,539	1,731,970	△409,147	1,322,822

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△409,147千円には、セグメント間取引消去△1,036千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△408,111千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	住宅事業	余暇事業	都市事業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
売上高							
分譲住宅及び土地	17,845,063	—	—	—	17,845,063	—	17,845,063
注文住宅	1,099,900	—	—	—	1,099,900	—	1,099,900
建設資材	1,124,984	—	—	—	1,124,984	—	1,124,984
リフォーム	237,001	—	—	—	237,001	—	237,001
施設利用料	—	1,184,380	—	—	1,184,380	—	1,184,380
収益不動産	—	—	555,454	—	555,454	—	555,454
その他	251,560	95,274	116,011	—	462,846	—	462,846
顧客との契約から生 じる収益	20,558,510	1,279,655	671,466	—	22,509,631	—	22,509,631
その他の収益(注) 3	—	—	70,019	8,417	78,436	—	78,436
外部顧客への売上高	20,558,510	1,279,655	741,485	8,417	22,588,067	—	22,588,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50,400	132	28,518	—	79,050	△79,050	—
計	20,608,910	1,279,787	770,003	8,417	22,667,118	△79,050	22,588,067
セグメント利益	330,969	290,418	25,736	4,874	651,999	△395,480	256,519

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他賃貸収入等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△395,480千円には、セグメント間取引消去7,077千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,558千円が含まれています。

3 その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸料収入等であります。

4 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。